

デジタルグリッド初 風力発電の需給管理を開始 新たに自社開発した AI 予測技術を活用

デジタルグリッド株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：豊田祐介、以下「当社」）は、2026年2月より風力発電の需給管理（アグリゲーション）を開始いたしました。今回新たに自社開発した AI 予測技術で発電量を予測し、需給管理を自動化しています。

当社は電力業界の新しい未来を切り開く存在となるよう、今後も多様なサービスを通じて持続可能でエネルギー制約のない社会を目指してまいります。

風力発電の需給管理の特徴

風力発電は、太陽光発電と比べて気象条件により発電量の変動が大きくなる傾向があるため、精度の高い発電量の予測技術が重要な課題となっています。

当社は風力発電向けに、リアルタイムの気象データを基に発電量を予測する技術を新たに開発。電気の供給量と消費量を一致させる「需給管理」を AI で最適化する役割を担います。太陽光発電に加え、風力発電の需給管理にも対応できるようになり、当社の電力取引プラットフォーム（DGP*）を通じた卸電力市場（JEPX）への売電までワンストップで提供できる体制が整いました。

*デジタルグリッドプラットフォーム（DGP）とは

電力の小売全面自由化後、デジタルグリッドが立ち上げた日本初の民間による電力取引市場。利用企業数は **1200 社** を突破し、医療や製造、宿泊・観光、地方自治体など **3400 以上の「電力使う拠点」** と、全国各地 **1400 以上の「発電拠点」** が日々、取引しています。

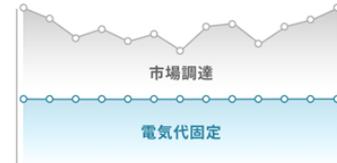
直接取引による中間コストを削減



安定的な売先を確保



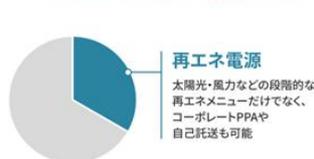
一定割合の電気代を固定化



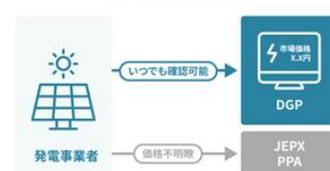
精度の高い需給管理



再生エ電力を望む割合で調達



価格の透明化



会社概要

▶令和7年度 気候変動アクション環境大臣賞 ▶令和6年度 新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」

会社名：デジタルグリッド株式会社 (<http://www.digitalgrid.com/>)

代表者：代表取締役社長 CEO 豊田祐介 【東証グロース市場 350A】

設立：2017年10月 資本金：1,139百万円 従業員数：94名（3月1日現在）

所在地：東京都港区赤坂 1-7-1 赤坂榎坂ビル3階

事業内容：電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP」運営、分散型電源アグリゲーションサービスの提供